

作成日 2025年2月12日

(臨床研究に関するお知らせ)

顎変形症と診断され、当科に通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学歯科口腔外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

顎変形症患者の病態と治療に関する観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学歯科口腔外科学講座 教授 松村達志

3. 研究の目的

顎変形症は、咬合異常や顔面非対称を特徴とする疾患であり、矯正治療や外科的治療が標準的に実施されていますが、治療成績や予後に影響を与える因子についての体系的な評価は限られています。

そこで、顎変形症患者の病態および治療成績を後ろ向きに評価することで、診断および治療における新たな知見を得ることを目的とします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

【研究実施許可日～10年間】に和歌山県立医科大学附属病院歯科口腔外科で顎変形症の診療を受けた患者様です。過去の診療記録を用いて、匿名化された情報を分析します。

15-17歳の未成年の患者さんも対象となります。

(2) 研究期間

研究実施許可日～9年間

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者情報（性別、年齢、既往歴、常用薬等）、臨床症状（咬合状態、顔貌所見等）、血液検査・画像検査の検査情報、治療方法とその詳細、経過です。診療情報に記録された情報を利用させていただきます。

(5) 方法

診療録をもとに情報を入力し、すべての情報が収集できれば統計分析を行います。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術

雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学 歯科口腔外科学講座

担当者：松村達志

住所：和歌山県和歌山市紀三井寺8 1 1 - 1

e-mail：tatsushi@wakayama-med.ac.jp

Tel/Fax：073-441-0643